

目 次

『2020（令和2）年度奈良県立大学研究報告』の発刊に際して	1
1. 懸賞論文（卒業論文）	
2020（令和2）年度懸賞論文の審査結果について	3
－最優秀賞－	
“普通のものさし”を乗り越える	
－貧困家庭の子どもたちの主体的実践－	廣田 みのり
	7
－優秀賞－	
分かり合えなさを共有するためのアートマネジメント	
	櫻井 莉菜
	26
－優秀賞－	
W. M ヴォーリズの建築から見る都市	福本 千尋
	48
－入選－	
公園におけるユニバーサルデザインの在り方に関する考察	
	山田 瑠海
	68
なぜ人はボディステッチをするのか	
－縫う行為を通じた自己との対話－	麓 早稀
	92
食育推進活動における「正しさ」をめぐって	
－食生活改善推進員協議会「三田いずみ会」の事例から－	
	縄手 望未
	114

2. 学生グループ共同研究報告	
ジャズとヒップホップが有する「即興性」に注目した音楽制作 —EP《What's up》の制作を通じて—	
研究代表者：大西佑弥 共同研究者：瀧澤晟司	137
対話の場としての展覧会のあり方に関する考察 ～現代アート展 船／橋 わたす 2020 「へんでふつう わたしたちの10年を話しあう」の開催を通して～	
研究代表者：櫻井莉菜 共同研究者：寺田紫衣真・山下紗良・山中愛生 三宅啓暉・佐藤利香・田中綾花	143
コロナ禍における多文化共生への道	
研究代表者：清水怜央 共同研究者：浅越郁杜・金温香・向井優大 吉澤 舞・山脇一步・小田 愛 岡本怜奈・脇本瀬凜・西村寛也	148
平城・相楽ニュータウンにおける無理なく交流できる居場所と そのネットワーク	
研究代表者：峯松万佑花 共同研究者：上中別府大海・梅永 真衣・笠原和奏 政井文花・森川はるか	156
3. 卒業論文タイトル一覧	165
4. 研究報告書タイトル一覧	172
5. 教員の新刊書紹介	177